

2010 年度 障害者の働きを軸とした地域づくりモデル事業

(滋賀県障害者自立支援課 街かどケア滋賀ネット)

養成研修事業を含むこれまでの事業成果を検証するとともに、知的障害のある人の介護の場での「“ならでは”の働き」への理解の促進、および今後の雇用の拡大を障害福祉に関する担当課とだけでなく、介護保険担当課や、児童・保育の担当課にも検討委員に参画してもらい、滋賀県協働提案制度に基づく共同事業として 2010 年度に「障害者の働きを軸とした地域づくりモデル事業」を実施することになった。

主な事業内容は、

①障害者の働きを軸とした地域づくりモデル事業 実践編

(滋賀県が「滋賀県緊急雇用創出特別推進事業」として実施)

②障害のある人の就労が比較的少ない地域で「“ならでは”の働き」の良さを周知し、今後の雇用促進を目指した実践報告を湖北圏域、湖西圏域の 2 圏域で実施。

③これまでの事業検証を行うために、県内の障害のある人を雇用している、又は過去に雇用していた介護事業所に対するアンケート調査、ならびに今後の職域拡大(児童・保育、移送サービス)の可能性や課題について整理、検討するために保育所等児童・保育分野に対する現状の障害者雇用の状況の確認、移送サービス事業所へのアンケート調査を実施。

の 3 点であった。

児童・保育分野に関しては、現状の障害者雇用の状況の確認、移送サービスへはアンケート調査を実施した。

また、介護の場における障害者雇用の実態を把握するため、滋賀県内の障害のある人を雇用している、又は過去に雇用していた介護事業所に対してアンケート調査を実施した。

この共同事業を行うにあたり、障害福祉関係以外の担当課や事業所とともに事業検証ができ、共有が図れたことは大きな前進であった。